TOSHIBA
Leading Innovation >>>

東芝加湿器 温風気化／気化式（家庭用）

取扱説明書

形　名
KA-J80DX
KA-J60DX

日本国内専用
Use Only In Japan

保証書付
保証書はこの取扱説明書の 20 ページについておりますので、お買い上げ日、販売店名などの記入をお確かめください。

● このたびは東芝加湿器をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
● この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
● お読みになった後は、お使いになるかたがいつでも見られるところに必ず保管してください。

もくじ

特長（知っておいてほしいこと）

蒸気や霧は見えません

気化フィルターに風をあてて湿った空気を送り出す加湿方式のため、スチームファン式や超音波式のように蒸気や霧は見えません。

吹き出す風は暖かくないことがあります

温風気化時でも、気化フィルターで水が気化するときには熱が奪われるので、吹き出す風は暖かくないことがあります。

室内の湿度や温度の条件により加湿量が変わります

雨の日などの湿度が高いときや、室内の温度が低いときは、水が気化しにくいため加湿量が少なくなります。（タンクの水の減り方が遅くなります）
また、室内の湿度が低いときは加湿量が多くなります。（タンクの水の減り方が速くなり、連続加湿時間が短くなります）

きれいな空気と水で加湿

●エアフィルター（プラチナフィルター）
プラチナ抗菌※1加工を施し、エアフィルターに付着した菌の繁殖を抑制します。

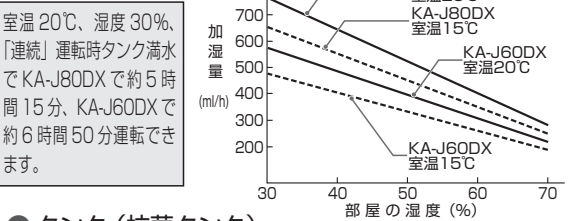
●気化フィルター（抗菌ロータリー気化フィルター）
抗菌※2、防カビ※3加工を施し、気化フィルターに付着した菌の繁殖を抑え、ロータリー方式にすることによって、約24ヶ月使用することができます。

ハイブリッド式（温風気化／気化式）

この製品は、水を含ませた気化フィルターに風をあて加湿する「気化式」と温風をあてる「温風気化式」のハイブリッド式です。
加湿し始めは「温風気化式」ですばやく加湿し、設定湿度に達すると自動的にヒーターを使わない「気化式」に切り換えて加湿します。

送風ファン
ヒーター
吸気口
気化フィルター
室内の空気
加湿空気
水槽

部屋の湿度と加湿量

室温20℃、湿度30%、「連続」運転時タンク満水でKA-J80DXで約5時間15分、KA-J60DXで約6時間50分運転できます。

●タンク（抗菌タンク）・タンクキャップ（抗菌タンクキャップ）
抗菌※4加工を施し、タンク・タンクキャップの菌の繁殖を抑制します。

●抗菌ガラス※5
トレイ内の菌の繁殖を抑制します。

ピコイオン運転について

ピコイオンユニットの電極ピンに高電圧をかけることにより、電極ピン先端に集まった水を微細化させ、空気中に放出し、除菌※6・脱臭※7・アレル物質（花粉※8・ダニ※9）・ウィルス※10の抑制を行います。
KA-J80DXでは、ピコイオンユニットの電極ピンにプラチナ加工を施し、除菌効果を高めています。

	※1	※2	※3	※4	※5
試験機関	（財）日本紡績検査協会	（財）日本紡績検査協会	（財）日本紡績検査協会	（財）新潟県環境衛生研究所	（財）新潟県環境衛生研究所
試験方法	JIS L 1902に準拠	JIS L 1902に準拠	ハロー法	JIS Z 2801に準拠	浸漬法により混釈平板培養法で菌数を計測
抗菌・防カビの方法	エアフィルターに抗菌加工	気化フィルターに抗菌加工	気化フィルターに防カビ剤を含浸	タンク・タンクキャップに抗菌加工	水溶性ガラスに銀を含有
抗菌・防カビを行っている対象部分の名称	エアフィルター	気化フィルター	気化フィルター	タンク・タンクキャップ	抗菌ガラス
試験結果（試験番号）	抗菌効果99.9%（003856-1, 003856-2）	抗菌効果99.9%（09006185-1, 09006185-2）	防カビ効果あり（09006185-3）	抗菌効果99.9%（第200903679-001-MBA号）	抗菌効果99.9%（第200903677-001-MBA号）

	※6	※7	※8	※9	※10
試験機関	京都薬科大学 薬剤学教室	（財）新潟県環境衛生研究所	信州大学 繊維学部	信州大学 繊維学部	（財）日本食品分析センター
試験方法	標準寒天培地表面塗抹法	6畳の試験室内でピコイオンユニットを搭載した加湿器を運転させ、アンモニア臭を付着させた布地の臭気低減効果を検証	11L試験ボックス内でピコイオンユニットを作動させ、不織布に染み込ませたスギ花粉の作用を電気泳動法で測定	1m³試験ボックス内でピコイオンユニットを作動させ、不織布に染み込ませたダニの死がいの作用をELISA法で測定	120Lボックス内にウィルス浮遊液を置き、ピコイオンユニットを作動させ、ウィルス量の変化をTCID50法で測定
除菌・脱臭・抗花粉・ダニ・抗ウィルスの方法	水を微細化させ空気中に放出	水を微細化させ空気中に放出	水を微細化させ空気中に放出	水を微細化させ空気中に放出	水を微細化させ空気中に放出
除菌・脱臭・抗花粉・ダニ・抗ウィルスを行っている対象部分の名称	ピコイオンユニット	ピコイオンユニット	ピコイオンユニット	ピコイオンユニット	ピコイオンユニット
試験結果（試験番号）	除菌効果99.9%（第80715号）	布付着臭初期3.5ppmが120分後にKA-J80DXは0.5ppm、KA-J60DXは0.2ppmに低減	抑制効果あり	抑制効果あり	ウィルス抑制効果99.9%（第207062037-002号）

安全上のご注意　必ずお守りください

●商品および取扱説明書にはお使いになるかたや他の人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示の説明

警告「死亡または重傷を負うことが想定されること」を示します。	**注意**「軽傷や物的損害の発生が想定されること」を示します。

図記号の説明

してはいけないこと（禁止）を示します。	しなければならないこと（指示）を示します。

警告

火災・感電・やけど・けがなどを防ぐために

使用を中止する

異常・故障時にはすぐに使用を中止する

（火災・感電・けがの原因）
すぐに電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店または東芝生活家電ご相談センターに点検・修理を依頼してください。

《異常・故障例》
- 水もれする。
- 本体が異常に熱かったり、こげくさいにおいがする。
- 運転中に異常な音や振動がする。
- コードを動かすと通電したりしなかったりする。

分解禁止

分解・修理・改造をしない

（火災・感電・けがの原因）
高電圧発生装置を内蔵しています。
修理はお買い上げの販売店または東芝生活家電ご相談センターにご相談ください。

禁止

次の場所では使わない

●幼児の手の届くところでは使わない
（感電・けがの原因）

●不安定な場所に置かない
（転倒したときなど、水がこぼれる原因）

電源プラグ・コードは

指示

●電源は交流100Vの定格15A以上のコンセントを単独で使う
（火災・感電の原因）
電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。

●電源プラグの刃および刃の取付面にほこりが付いているときは、乾いた布でふき取る
（絶縁不良による火災の原因）

禁止

●電源プラグ・コードが傷んだとき、熱くなったとき、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない
（火災・感電・けが・ショートの原因）

●電源プラグ・コードを加工しない、熱器具に近づけない、無理に曲げない、引っ張らない、ねじらない、束ねて通電しない、重いものをのせない、挟み込まない
（火災・感電・けが・ショートの原因）

プラグを抜く

●お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜く
（感電の原因）

ぬれ手禁止

●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
（感電・けがの原因）

（つづく）

安全上のご注意（つづき）

⚠警告

ご使用・取り扱いは

指 示

●同じ場所で長期間使う場合は、製品下部や床を時々清掃する
（水がこぼれたまま放置した場合、床の腐食の原因）

●トレイ内の水を排水するときは、本体から直接排水せず、タンクを取り出してからトレイをはずし、気化フィルターをはずして、トレイを傾け排水する
（本体内部の電気部品に水が入り、火災・感電・ショートの原因）

禁 止

●使用中や使用直後（運転停止後約10分間）はヒーター周辺にさわらない　お手入れしない
（本体高温部によりやけどの原因）

●吹出口・吸気口やすき間にピン・針金など異物を入れない
（感電・異常動作してけがの原因）

●トレイ内の水を飲まない、飲ませない
（体調不良になる原因）

水ぬれ禁止

●水につけたり、水をかけたりしない
（ショート・火災・感電の原因）

禁 止

本体などのお手入れのとき、塩素系・酸性の洗浄剤は使わない
（洗剤から発生する有毒ガスで健康を害する原因）

⚠注意

火災・感電・やけど・けがなどを防ぐために

電源プラグ・コードは

プラグを抜く

●電源プラグをコンセントから抜くときはコードを持たずに電源プラグを持つ
（コードを引っ張ると破損し、火災・感電の原因）

●使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く
（絶縁劣化による火災・感電の原因）

次の場所では使わない

禁 止

●加湿された風が家具・壁・カーテンなどに直接あたるところには置かない
（しみが付いたり、変形する原因）

●暖房機・テレビなどの電化製品の上で使わない
（転倒したときなどに感電・ショートの原因）

ご使用・取り扱いは

指 示

●移動するときは運転を止め、タンク・トレイの水を抜き、ハンドルを持ち、傾けないようにゆっくり運ぶ
（水がこぼれて床をぬらす原因）
傾けたりゆすったりしないでください。

●タンクの水は毎日新しい水道水と入れかえ、本体内部は常に清潔に保つよう定期的にお手入れする
（お手入れをしないまま使い続けると、カビや雑菌が繁殖し悪臭の原因）
体質によっては過敏に反応し、健康に良くないことがあります。この場合は医師に相談してください。

禁 止

●本体・タンクを落としたり、強い衝撃を与えたりしない
（本体・タンクが破損し、水もれ・感電・ショート・発火の原因）

●本体内部には直接水を入れない
（感電・ショートの原因）

●吹出口・吸気口をふさがない
（変形・故障の原因）

●吸気グリル・エアフィルター・ピコイオンユニットなどをはずしたまま使わない
（感電・やけど・故障の原因）

お願い

凍結のおそれがあるときは、タンクとトレイの水を捨てる
凍結すると故障の原因になります。

水道水（飲用）以外は使わない
40℃以上のお湯や化学薬品・芳香剤・汚れた水・アルカリイオン水・井戸水・浄水器の水・ミネラルウォーターなどを入れると、変形や故障の原因になります。

直射日光の当たるところや暖房機の近くに置かない
・タンク内の空気が膨張し、水があふれることがあります。
・プラスチック部分が変形、変質することがあります。

湿度の高いところ（85%以上）では使わない
・加湿のしすぎは、室内の結露やカビが生える原因になります。
・故障の原因になります。

温度・湿度を正しく検知するために、次のようなところで使用しない
・直射日光やエアコン・暖房機の温風があたるところ
・窓際など外気の影響を受けやすいところ
・室内の温度が5℃～35℃でないところ

電磁調理器やスピーカーの近くなどの磁気の多いところに置かない
正常に動作しないことがあります。

使わないときはタンクとトレイの水を捨てる
水を入れたまま放置するとカビや雑菌が繁殖しやすくなります。

ハンドル・タンクハンドルを持って本体・タンクを振りまわさない
破損、割れ、水もれ等の原因になります。

お手入れはこまめに行う
お手入れをせずに使い続けると、本体内部に水あかなどが付着してとれにくくなります。

ハンドル・タンクハンドルで指をはさまない
ハンドル・タンクハンドルを下げるとき本体・タンクとの間に指をはさまないように注意してください。

室内の湿度ムラをなくす
床付近と天井付近では温度・湿度が異なります。
サーキュレーター・エアコンなどを使って、室内の空気を循環させてください。

仕 様

形　　名	KA-J80DX	KA-J60DX
電　　源	交流 100V　50-60Hz 共用	
消　費　電　力　※1	385W	270W
加　湿　量（室温20℃/湿度30%）※2	約 760ml/h	約 580ml/h
タ ン ク 容 量	約 4.0L	
連続加湿時間（目安）（室温20℃/湿度30%）※3	約5時間15分	約6時間50分
適用床面積（目安）※4	木造和室～12.5畳（～21m²） プレハブ洋室～21畳（～34m²）	木造和室～9.5畳（～16m²） プレハブ洋室～16畳（～26m²）
外　形　寸　法	幅約402mm×奥行約212mm×高さ約367mm（突起含む）	
質　　量	約 5.6kg	
電源コードの長さ	約 1.4m	
付　属　品	エアフィルター、気化フィルター、ピコイオンユニット	

※1、※2、※3 加湿モード「連続」の場合です。
※3 タンク満水の場合です。
※4 日本電機工業会規格（JEM1426）に基づいています。
●運転停止状態の消費電力は約 0.9W です。

※2 室温・湿度によって加湿量が変わります。
・室温が高い、または湿度が低いほど加湿量が多くなる。
・室温が低い、または湿度が高いほど加湿量が少なくなる。

この製品は、日本国内用に設計されているため海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This product is designed for use only in Japan and cannot be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

各部のなまえとはたらき

※ KA-J80DX のイラストで説明しています。

正面

吹出口ルーバー
ハンドル
タンクふた
ピコイオンユニット
吹出口
安全上の警告ラベル
操作部
水位窓
本体
ピコイオンランプ

背面

吸気グリル(吸気口)
エアフィルター
(消耗部品)
2,14,17ページ
形名および定格表示
安全上の警告ラベル
コード
電源プラグ
使用開始日ラベル
気化フィルターの使用開始日を記入してください。

タンクふた
タンクハンドル

トレイ内部 [上から見た図]

フロート
分解しないでください。フロート内部の発泡材は、はずさないでください。
抗菌ガラス
気化フィルター
(消耗部品)

タンク
やけど・感電警告ラベル

[トレイを抜いた内部]
ヒーターケース

トレイカバー
水位目盛
気化フィルター
(消耗部品)
2,15〜17ページ

トレイ
タンクをはずさないとトレイははずせません。
トレイをはずすときはタンクを先にはずしてください。

●各スイッチの近くに点字が付いています。

スイッチ名称	入タイマー		切タイマー	加湿切換	送風加湿	運 転	ピコイオン運転
点字							
読みかた	イリ	タイマ	キリ	カシツ	ソーフー	ウンテン	ピコイオン

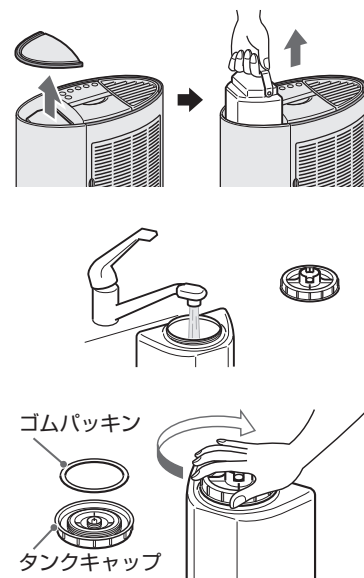
使いかた

本体の準備

タンクに水を入れる

1. タンクふたをはずし、タンクハンドルを持ってタンクを取り出す。
2. タンクを逆さまにして、タンクキャップをはずし、口元まで水道水を入れる。

3. ゴムパッキンがタンクキャップの内側の溝についていることを確認する。
   タンクキャップをしっかりしめる。
   - 水もれがないか確認してください。
   - タンクについた水はふき取ってください。

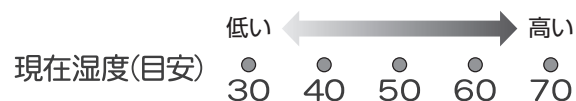
4. タンクを本体にセットし、タンクふたを取り付ける。
   - 吹出口ルーバー、トレイが本体にきちんとはまっていることを確認してください。12ページ

お願い

- 40℃以上のお湯や化学薬品・芳香剤・汚れた水・アルカリイオン水・井戸水・浄水器の水・ミネラルウォーターなどを入れないでください。
- 本体には直接水を入れないでください。
- 室温の低い部屋から高い部屋に加湿器を移動させたとき、また温度の低い水を利用したときにタンクの表面が結露する場合があります。このような場合はふき取ってください。
- タンクを落下させたり、衝撃を加えたりしないでください。タンクの破損、割れ、水もれ等の原因になります。

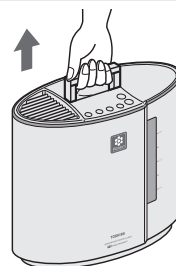
湿度サイン（目安）の表示

ランプの点灯でお部屋の湿度（目安）を表示します。

低い → 高い

現在湿度(目安)　30　40　50　60　70

- 湿度サイン表示は目安です。
  同じ室内でも場所により湿度が異なるためお部屋の湿度計と差が出ることがあります。
- 加湿運転中以外は表示しません。
- 使いはじめは本体内部の結露などで高い湿度表示になることがあります。
  (30 分以上運転すると徐々に室内湿度に近づいてきます)

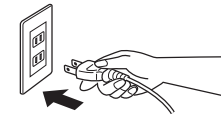
持ち運ぶときは

タンク、トレイの水を抜いてから、ハンドルを持って、傾けないようにゆっくり運んでください。

水を抜かずに持ち運ぶと、傾いたときに水がこぼれることがあります。

お願い

水平な安定した場所に置いてお使いください。本体が転倒すると「ピー、ピー、ピー…」というブザーがなり、湿度サインが点滅して運転が止まります。電源プラグを抜いてから、本体をおこしてこぼれた水をふき、本体が乾いてから使用してください。

加湿運転のしかた

1 電源プラグをコンセント（交流 100V）に確実に差し込む

2 運転切/入 を押す

▶ 加湿モードランプの連続ランプ（緑色）、ピコイオンランプ、(青色) ピコイオン設定ランプ（緑色）が点灯し、「連続」運転を開始します。

- 運転スイッチを押すと、加湿（連続）と同時にピコイオン運転も開始します。

「ピッ、ピッ、ピッ、ピッ」とブザーがなり、給水ランプ（赤色）が点滅したときは、12 ページの「エラー検知について」をご覧ください。

加湿モードを「連続」以外にするときは

加湿切換

を押す

▶ 選んだランプ（緑色）が点灯し、加湿を開始します。

ピコイオン運転を止めるときは

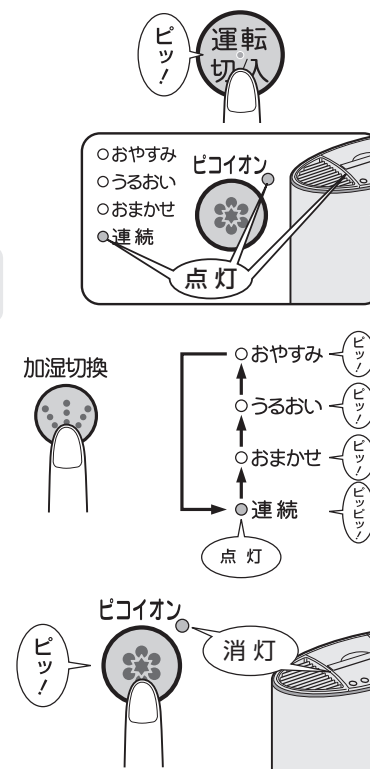
を押す

▶ ピコイオンランプ(青色)、ピコイオン設定ランプ（緑色）が消灯し、ピコイオン運転を停止します。

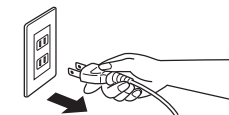
3 運転を止めるときは

運転切/入 を押し「切」にする

ピー！
運転
切/入

○おやすみ
○うるおい
○おまかせ
連続
ピコイオン
消 灯

▶ 設定した加湿モードランプ（緑色）が消灯し、ピコイオン運転している場合は、ピコイオンランプ（青色）、ピコイオン設定ランプ（緑色）が消灯します。

- 約 60 秒間送風後停止します。

4 電源プラグを抜く

お願い

- 運転を停止してから 60 秒以上たってから電源プラグを抜いてください。

タンクに水がなくなると

自動的に運転を停止し、給水ランプの点灯（赤色）と「ピー、ピー、・・・」と 5 回のブザー音でお知らせします。

続けて使うとき

タンクに水を入れて本体にセットしてください。給水ランプが消灯し、自動的に再運転します。

お知らせ

- タンク満水で KA-J80DX で※約 5 時間 15 分、KA-J60DX で※約 6 時間 50 分、運転できます。(「連続」運転、室温 20℃、湿度 30%時)
  ※室温、湿度により時間は変わります。

（つづく）

タイマー運転のしかた

切タイマー運転

設定した時間を運転したあと、自動的に運転を停止します。

運転中に

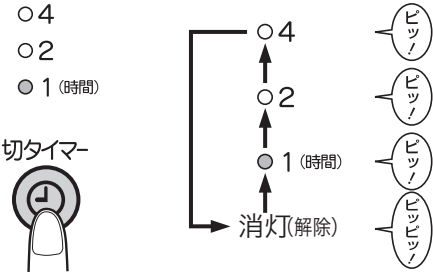
切タイマー
 を押し、切タイマー時間を設定する

（1 時間、2 時間、4 時間の設定ができます）

○4
○2
● 1 (時間)

切タイマー

○4 ピッ！
○2 ピッ！
● 1 (時間) ピッ！
消灯(解除) ピッピッ！

▶ 押すたびに切タイマーランプ（緑色）が右図の順序で点灯します。
▶ 時間の経過とともに切タイマーランプが切り換わり、残りの運転時間の目安を表示します。
●切タイマーランプを消灯させるか、運転を停止すると切タイマーは解除されます。
●切タイマー設定後、入タイマーをセットできます。

入タイマー運転

設定した時間が経過すると、自動的に「おまかせ」運転を開始します。

運転停止中か、切タイマー設定中に

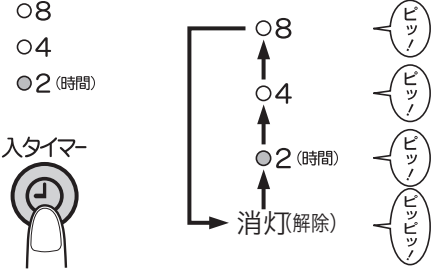
入タイマー
 を押し、入タイマー時間を設定する

（2 時間、4 時間、8 時間の設定ができます）

○8
○4
●2 (時間)

入タイマー

○8 ピッ！
○4 ピッ！
●2 (時間) ピッ！
消灯(解除) ピッピッ！

▶ 押すたびに入タイマーランプ（橙色）が右図の順序で点灯します。（電源プラグがコンセントに差し込まれていることを確認してください）
▶ 時間の経過とともに入タイマーランプが切り換わり、運転開始までの時間の目安を表示します。
●入タイマーランプを消灯させるか、運転スイッチを押すと入タイマーは解除されます。

4 時間オートパワーオフ機能

入タイマーで運転を開始してから 4 時間後、運転を停止します。4 時間オートパワーオフ機能を解除したいときは、切タイマースイッチを押し、切タイマーランプを消灯させてください。（加湿切換スイッチ、送風加湿スイッチ、運転スイッチを押しても解除されます）
●入タイマー運転開始時、切タイマーランプの 4 時間が点灯し、時間の経過とともに切タイマーランプが切り換わり、残りの運転時間の目安を表示します。

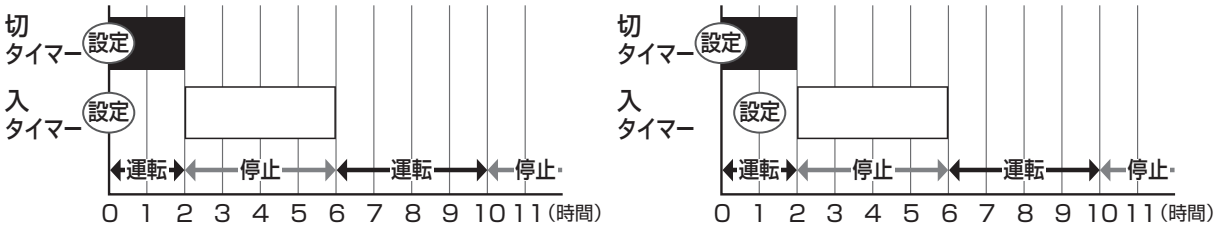
お願い

●切 / 入タイマー時間を変えたいときは、切 / 入タイマースイッチを押してお望みの時間に合わせてください。新たに合わせた時間からタイマーが動作します。
●給水ランプが点灯しているときは、タイマーを設定できません。給水してから設定してください。
●切タイマー運転をする場合、タンクの水量を確認してください。水量が少ないとタイマーが切れる前に水がなくなり、運転を停止し給水ランプが点灯します。給水ランプ点灯中でも、タイマーはカウントを継続しているため、タンクに水を入れ、本体にセットすると加湿運転を再開し、設定時間が経過すると自動的に運転を停止します。

切 / 入タイマー連動運転について

運転中、切タイマーを設定後、入タイマーを設定できます

例：切タイマーを 2 時間、入タイマーを 4 時間に設定した場合

例：切タイマーを 2 時間設定し、1 時間後に入タイマーを 4 時間に設定した場合

お知らせ

●切タイマー設定後、時間がたってから入タイマーを設定した場合も、切タイマー時間が終了後、入タイマー時間のカウントを開始します。
●切タイマーを解除すると、入タイマーも解除されます。
●切タイマーで運転停止後でも、入タイマーを設定できます。
●運転停止中で入タイマー設定後は、切タイマーは設定できません。

ピコイオン運転について

加湿運転中、ピコイオン運転を停止するとき

 を押す

▶ ピコイオンランプとピコイオン設定ランプが消灯し、ピコイオン運転を停止します。
●再び運転したいときは、もう一度ピコイオン運転スイッチを押してください。

おやすみ時などに、ピコイオンランプだけ消灯しピコイオン運転を続けるとき

 を 3 秒以上押す

▶ ピコイオンランプが消灯します。
●再び点灯したいときは、もう一度ピコイオン運転スイッチを 3 秒以上押し続けてください。

●運転スイッチを「切」にしたあと電源プラグを抜かずに「入」にすると、メモリー機能によりピコイオン運転は「切」にする前の状態になります。

送風加湿運転のしかた

送風加湿運転は、ヒーターを使った「温風気化式」による加湿をせず、気化フィルターに風をあて加湿する「気化式」のみの運転になります。電気代をおさえて加湿したいときに使います。

運転中に 送風加湿 **を押す**

▶加湿モードランプが消灯、送風加湿運転ランプが点灯し、送風加湿運転に切り換わります。

形名	KA-J80DX		KA-J60DX	
運転	送風加湿運転	「連続」運転	送風加湿運転	「連続」運転
消費電力 (W)	30	385	30	270
加湿量 (ml/h)	約460	約760	約400	約580

※室温 20℃、湿度 30% 時（室温、湿度により加湿量は変わります）

●強、弱、2 段の風量を自動調節し、湿度が約 55%になると弱風量で加湿します。
●送風加湿運転を止めて運転を停止する場合は、運転スイッチを押してください。他の加湿モードで運転したい場合は、加湿切換スイッチを押してください。（送風加湿運転をする前の加湿モードになります）
●送風加湿運転は、記憶されません。運転停止後、電源プラグを抜かずに「入」にした場合、送風加湿運転を解除し、送風加湿運転をする前の加湿モードになります。

（つづく）

加湿切換について

● お部屋が乾燥していると感じたときは、「連続」に切り換えてください。

お部屋の湿度に関係なく連続して加湿します。

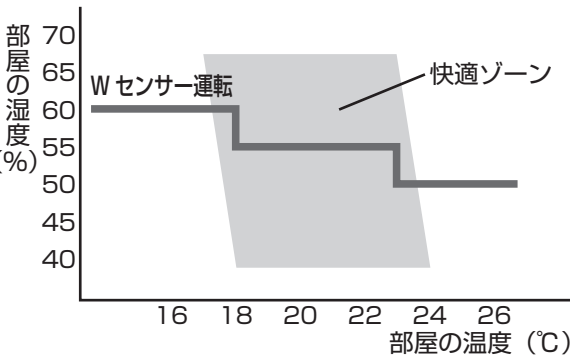
● のどやお肌の乾燥が気になるときは、「うるおい」に切り換えてください。

少し高めの湿度（約 65%）で湿度コントロールします。

● おやすみのときなど、静かに運転したいときは、「おやすみ」に切り換えてください。

お部屋の湿度に関係なく弱風で静かに運転します。（加湿量は少なくなります）

● 快適な湿度を保ちたいときは、「おまかせ」に切り換えてください。

湿度と温度の W センサーがお部屋を快適な湿度に保ちます。

お知らせ
- 適用床面積以内でもお部屋の壁、床の材質、換気の度合、外気の乾燥の程度によっては、設定した加湿モードの湿度に維持できない場合がありますが異常ではありません。
- 同じお部屋でも空気の流れが良いところと悪いところでは湿度が異なることがありますので、お部屋の湿度計と本製品の湿度コントロールが異なる場合があります。
- 「おまかせ」「うるおい」運転の場合、お部屋の湿度に関係なく、運転開始から 3 分間は強風で加湿し、その後、自動湿度コントロールを行います。なお、運転開始から 3 分未満であっても、加湿モードを切り換えた場合は、すぐに自動コントロールを行います。
- 「おまかせ」「うるおい」運転では、風量も強、弱、2 段の自動調節を行います。
- 給水ランプが点灯または点滅しているときは運転スイッチ以外の操作は受け付けません。給水してから操作してください。
- 運転スイッチを「切」にしたあと電源プラグを抜かずに「入」にするとメモリー機能により、「切」にする前の加湿モードになります。（ただし、切 / 入タイマー、送風加湿運転は記憶されません）
- 運転中、停電したときや運転スイッチを「切」にしたあと、電源プラグを差し直したときに「入」にすると「連続」運転になります。

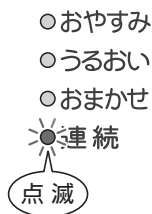
エラー検知について

下記のようなときは、運転できません。（運転中は運転を停止します）

「ピッ、ピッ、ピッ、ピッ」とブザーがなり、給水ランプが点滅しているとき

- 吹出口ルーバーが確実に取り付けられていません。吹出口ルーバーを確実に取り付けてください。

「ピッ、ピッ、ピッ、ピッ」とブザーがなり、加湿モードランプの連続ランプが点滅しているとき

- 気化フィルター、あるいはトレイが確実に取り付けられていません。気化フィルター、トレイを確実に取り付けてください。

○おやすみ
○うるおい
○おまかせ
連 続
点 滅

お手入れのしかた

⚠警告

プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜く（感電の原因）

ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない（感電・けがの原因）

禁 止

本体などのお手入れのとき、塩素系・酸性タイプの洗浄剤は使わない（洗剤から発生する有毒ガスで健康を害する原因）

禁 止

使用中や使用直後（運転停止後約 10 分間）は、ヒーター周辺にさわらない　お手入れしない（本体高温部によりやけどの原因）

- 使用を続けるとトレイ内部や、気化フィルター、ピコイオンユニット表面に白または茶色の水あかが付着します。水あかは水道水に含まれるミネラル分が気化せず残ったものです。お手入れせずに使い続けると固まって取れにくくなり、加湿量の低下につながります。

●お手入れのしかたにしたがいお手入れをして、いつも清潔にお使いください。

手順

準　　備
1. 電源プラグを抜く。
2. 本体内の部品を取り出す。

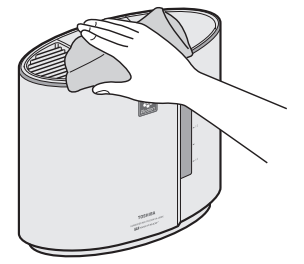
各部のお手入れ
- 説明にしたがって各部のお手入れをする。

部品をもとどおりに取り付ける

お願い
- 中性洗剤溶液は、洗剤容器に表示してある分量で水にうすめてください。
- 変質・変色防止のため、ベンジン・シンナー・アルコール・アルカリ性洗剤・クレンザーなどは使用しないでください。
- 化学ぞうきんを使うときはその注意書に従ってください。

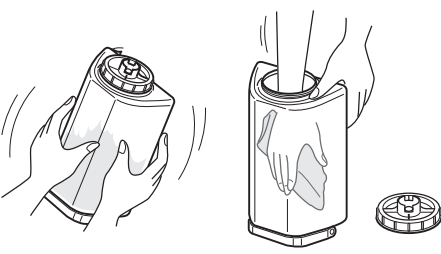
本 体（汚れたら）

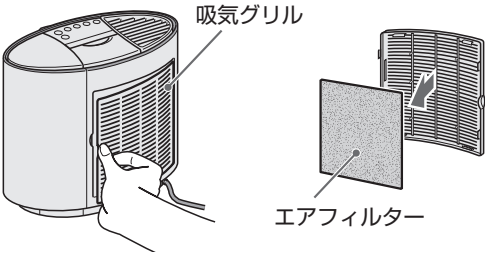
1. やわらかい布を水にひたしてかたくしぼり、汚れをふき取る
2. 乾いた布で水分をふき取る

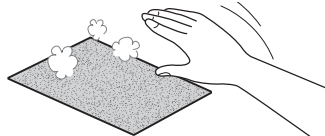
●汚れがひどいとき
1. 中性洗剤溶液に浸した布をしぼって汚れをふき取る
2. 洗剤が残らないよう、水でしぼった布で十分ふき取る

タンク内（給水ごと）

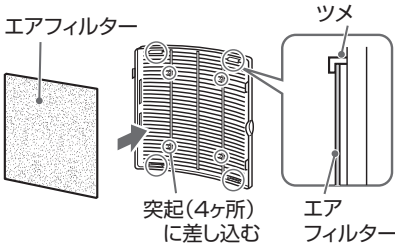
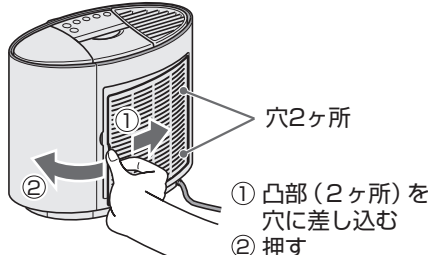
1. タンクに残っている水を捨てる。
2. タンク内に少量の水を入れ、タンクキャップをしめて、よく振り洗いし排水する。これを 2 ～ 3 回くり返す。

●汚れがひどいときは、タンクの中を直接洗ってください。

（つづく）

エアフィルター（1 週間に 1 回程度）

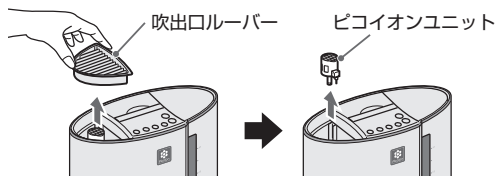
1 吸気グリルをはずし、エアフィルターを取り出す

2 エアフィルターのほこりを取る

● かるくたたいてほこりを取ります。

お願い
● 水洗いしないでください。エアフィルターの効果が低下します。

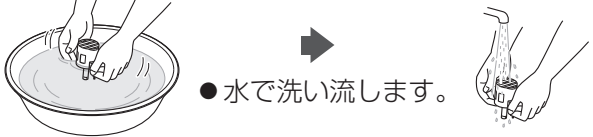
3 エアフィルターを吸気グリルに取り付ける

4 吸気グリルを本体に取り付ける

ピコイオンユニット（2 週間に 1 回程度）

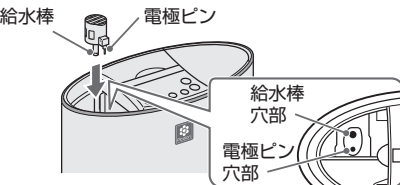
● 使用を続けるとピコイオンユニットに白または茶色の水あかが付着します。水あかは水道水に含まれるミネラル分が気化せず残ったものです。お手入れせずに使い続けると固まって取れにくくなり、ピコイオンユニットの性能が低下します。
● 使用する水道水の水質によっては、早く水あかが付着する場合があります。このような場合は、早めにお手入れしてください。

1 吹出口ルーバーをはずして、本体からピコイオンユニットを取り出す

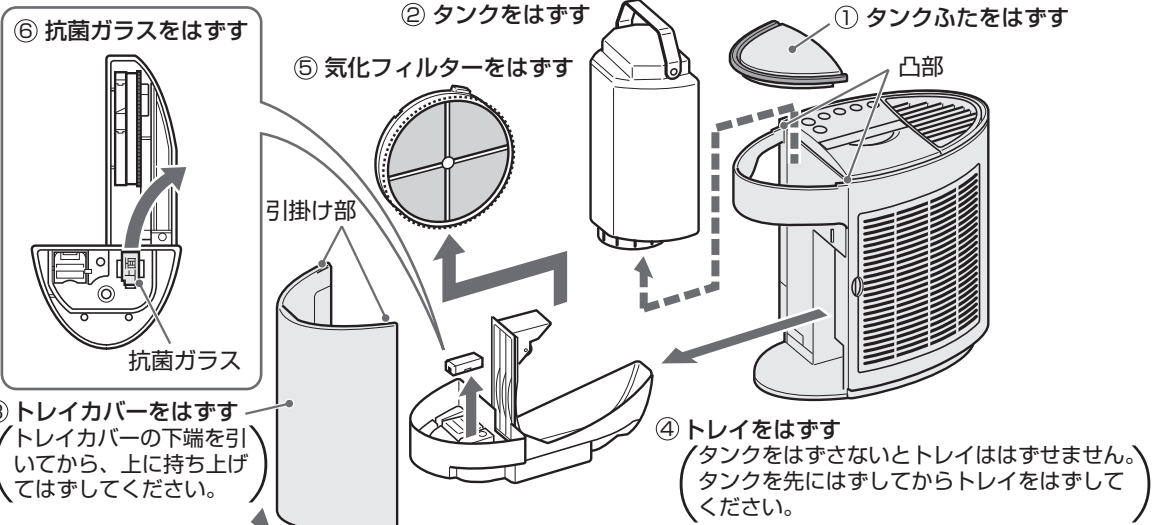
● 吹出口ルーバーは、まっすぐ上に持ち上げてはずしてください。

2 つけ置き洗いする

● ピコイオンユニットを水に浸けます。（8 時間以上）

● 水で洗い流します。

3 やわらかい布で水分をふき取り、十分乾燥させてから、本体に取り付ける

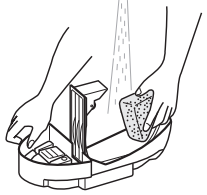
お願い
● 熱湯で洗わないでください。
● 洗剤は使用しないでください。
● ブラシやとがったものでピコイオンユニットをこすらないでください。故障の原因になります。
● 保管するときは、水分を十分にふき取ってください。カビ発生の原因になります。

汚れが取れにくいときは
16 ページを参照してクエン酸洗浄を行ってください。

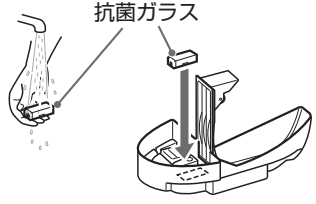
トレイ（2 週間に 1 回程度）

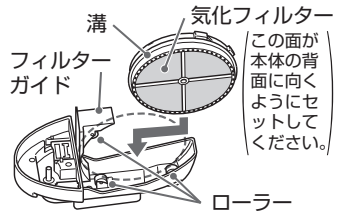
1 タンクふた、タンク、トレイカバー、トレイ、気化フィルター、抗菌ガラスをはずす

2 トレイ内の水を排水する

● 図のように傾けて排水してください。

3 水洗いする

● 角などは歯ブラシで洗います。

4 抗菌ガラスを水洗いし、セットする

● ゴミなどを洗い流し必ずセットしてください。

5 トレイにお手入れをした気化フィルターを取り付ける

● 気化フィルターの溝にトレイのローラー（2ヶ所）とフィルターガイドのローラー（1ヶ所）を合わせてセットしてください。
● 気化フィルターの向きに注意してください。

6 本体にトレイを確実に取り付ける

● 取り付けが不完全ですと給水ランプが点灯したり、加湿モードランプが点滅します。
● 気化フィルターの向きが合っていないと本体にトレイを確実に取り付けられません。

7 トレイカバー、タンクをセットし、タンクふたを取り付ける

● トレイカバーは、引掛け部を本体の凸部に入れてから、下側を押し込んでセットしてください。

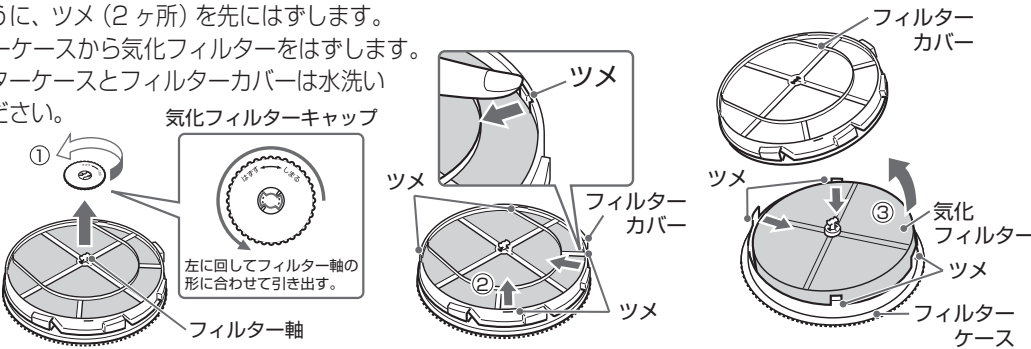
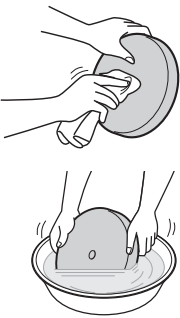
（つづく）

お手入れのしかた（つづき）

気化フィルター（2 週間に 1 回程度）

- 抗菌加工され、菌の繁殖を抑制しますが、全ての菌を抑制するわけではありません。
- 抗菌加工していても、汚れが付くと抗菌効果が落ちてしまいます。抗菌効果が長持ちするように 2 週間に 1 回程度のお手入れをおすすめします。
- 使用を続けるとトレイ内部や、気化フィルター表面に白または茶色の水あかが付着します。水あかは水道水に含まれるミネラル分が気化せず残ったものです。お手入れせずに使い続けると固まって取れにくくなり、加湿量の低下につながります。
- 使用する水道水の水質によっては、早く水あかが付着する場合があります。このような場合は早めにお手入れしてください。
- 気化フィルターより色が落ちる場合がありますが、添加剤の色で異常ではありません。

1 フィルターカバーとフィルターケースをはずす

①気化フィルターキャップを左に回してはずします。
②フィルターケースのツメ（4 ヶ所）を内側に押して、フィルターカバーを持ち上げるようにはずします。
・図のように、ツメ（2 ヶ所）を先にはずします。
③フィルターケースから気化フィルターをはずします。
・フィルターケースとフィルターカバーは水洗いしてください。

2 水またはぬるま湯をひたしたやわらかい布で気化フィルターの水あか、汚れをふき取る

3 水またはぬるま湯の中でふり洗いし、汚れや水あかを落とす。ふり洗いで落ちない場合はやわらかい布でふき取る

- しぼったり、強く押さえたりしないでください。

においが取れにくいとき

1 水またはぬるま湯（約 40℃）に台所用合成洗剤（粉末）を溶かして、つけ置き洗いをする

- つけ置き時間：約 1 時間
- 台所用合成洗剤（粉末）は、洗剤容器に表示してある分量でうすめてください。

汚れが取れにくいとき

1 ぬるま湯（約 40℃）にクエン酸を溶かして、つけ置き洗いをする

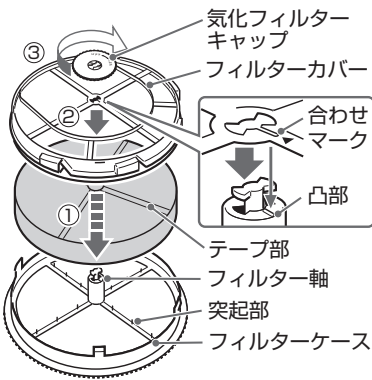
- つけ置き時間：約 1 時間
（お湯の温度は徐々にさがりますが、お湯は加えないでください）
- クエン酸使用量：1L あたり約 10g（小さじ 2 杯）
（濃度が高いと破損の原因になります）

2 すすぎ洗いをする

- きれいな水を使用してください。
- 水を入れ替えて、2～3 回においがなくなるまで繰り返します。（汚れが落ちにくいときは、やわらかい布でふき取ってください）

すすぎが不十分ですと、洗剤やクエン酸のにおいの発生や故障の原因になります。

3 水分をふき取り、フィルターカバーとフィルターケースを取り付ける

①フィルターケースのフィルター軸に気化フィルターの穴部を合わせてはめ込みます。
・気化フィルターのテープ部がフィルターケースの突起部にあたらないようにはめ込んでください。（面により、テープの貼付位置が異なるので、注意しながらはめ込んでください）
②フィルター軸の凸部とフィルターカバーの合わせマークを合わせて、フィルターケースのツメ（4 ヶ所）をフィルターカバーの内側に入れるようにし、「カチッ」と音がするまで押し込みます。
・ツメ（4 ヶ所）が確実にはまっていることを確認してください。
③気化フィルターキャップをはめて押しながら右に回し、しっかりしめ付けます。
・文字（はずす⟷しまる）のある面を表にしてはめてください。

4 トレイにセットし、本体に取り付ける

お願い

- クエン酸のにおいが発生するため、換気扇に近いところで、換気をしながら行ってください。
- クエン酸は薬局で市販されていますが、入手できない場合は、お買い上げの販売店でお買い求めください。
（部品名：ポット洗浄クエン酸 / 部品コード：32389024）
- クエン酸は食品添加物につき食品衛生上無害ですが、幼児の手の届かないところに保管してください。

気化フィルター（交換時期）

気化フィルターは消耗部品です。約 24 ヶ月を目安に交換してください。
- 1 日 8 時間運転の場合、気化フィルターの交換は、約 24 ヶ月に 1 回程度です。
- 1 日 10 時間運転の場合は、約 19 ヶ月に 1 回程度です。

※使用状況によっては寿命が早いことがあります。定期的にお手入れが必要です。

次のような場合には、目安に関係なく交換してください。

- お手入れしてもにおいや水あかが取れない。
- お手入れしても運転時、タンクの水の減りが少ない。
- いたみや形くずれがひどい。

お願い

- 交換方法は、15 ページまたは、交換用の気化フィルター取扱説明書を参照ください。
- 気化フィルターを破棄するときは、お住まいの地域のごみ分別方法に従ってください。
・気化フィルターの材質：ポリエステル

消耗部品（お買い上げの販売店でお買い求めください）

お手入れをしても汚れが落ちなくなったり、破れた場合は交換してください。

形　名	東芝加湿器用気化フィルター
KA-J80DX	KAF-12
KA-J60DX	KAF-11

	エアフィルター（東芝テクノネットワーク（株）扱い部品）
部品コード	46442630

- 約 24 ヶ月（地域の水質により極端に変化します）を目安に交換してください。

保管のしかた

1 お手入れのあと、本体の水をふき取り日かげで乾かす

2 気化フィルター、ピコイオンユニットの水をよくきり日かげで乾かす

メモ 湿ったまま保管するとカビの原因になります。

3 包装箱に入れるか、ポリ袋をかぶせ、湿気の少ないところに保管する

故障かな？と思ったとき

修理を依頼する前に、次の点をお調べください。

こんなとき	原　　因	参照ページ
蒸気（霧）が出ない・見えない	この製品は気化フィルターに風をあてて湿った空気を送りだす方式のため、蒸気や霧は見えません。	2

こんなとき	調べるところ	処置のしかた	参照ページ
運転しない	電源プラグがコンセントからはずれていませんか。	電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。	9
	給水ランプが点灯していませんか。（タンクに水は入っていますか）	タンクに給水してください。	8
	給水ランプが点滅していませんか。	吹出口ルーバーが確実に取り付けられていることを確認してください。	12
	加湿モードランプの連続ランプが点滅していませんか。	気化フィルター、トレイが確実に取り付けられていることを確認してください。	12 15
運転スイッチを「切」にしたのにすぐ止まらない	—	運転スイッチを「切」にしても送風ファンは運転を続けます。 約60秒間送風後自動的に止まります。	9
加湿モードランプの「うるおい」か「おまかせ」または、送風加湿運転ランプが点灯しているのに加湿が弱い（風が弱い）	—	お部屋の湿度が設定した加湿モードの湿度以上になっているため、弱風運転をしています。さらに加湿したい場合は「連続」運転を選択してください。	11 12
風の出が少ない	おやすみ運転をしていませんか。	おやすみ運転の場合、送風ファンの回転をおさえますので風の出が少なくなります。	9 12
	吸気グリルのエアフィルターがほこりで目詰まりしていませんか。	エアフィルターのお手入れをしてください。	14
	気化フィルターに水あかやごみが付着していませんか。	気化フィルターのお手入れをしてください。	16 17
加湿切換ができない 切タイマー運転ができない	給水ランプが点灯していませんか。（タンクに水は入っていますか）	タンクに給水し、給水ランプが消灯してから設定してください。	8~12
タンクに水があるのに給水ランプが点灯する	トレイが確実に本体に入っていますか。	トレイを確実に本体に入れてください。	15
	本体が傾いていませんか。	本体を水平な場所に置いてください。	8
	トレイに直接水を入れたり、タンク、トレイに水を入れたまま持ち運んだりしていませんか。	タンクをはずし、一度トレイ内の水を排水し、再度タンクをセットして給水してください。	8 15
湿度が上がらない	部屋が広すぎませんか。	適用床面積の範囲でお使いください。	5
	窓、戸を開けていませんか。	窓、戸を閉めてお使いください。	—
においが出る	気化フィルター、エアフィルター、トレイが汚れていませんか。（お部屋やタバコのにおいが気化フィルターに付着してにおいが出ることがあります）	気化フィルター、エアフィルター、トレイのお手入れをしてください。	14~17
湿度サインの表示がお部屋の湿度計の表示と違う	—	同じお部屋でも空気の流れや、温度差などにより湿度が異なることがあります。湿度サインは目安としてお使いください。	8
タンクの表面が結露する	—	コップに冷たい水を入れると表面が結露するのと同じ現象です。結露した場合は布などでふき取ってください。	8
気化フィルターがトレイにセットしにくい	気化フィルターの取り付け方向がまちがっていませんか。	気化フィルターの向きを合わせて、トレイとフィルターガイドのローラーに合わせてセットしてください。	15
本体にトレイを入れるときや引き出すときに水がこぼれる	トレイに気化フィルターが取り付けられていますか。	トレイに気化フィルターを取り付けてください。	15
トレイの水に色が着く	—	トレイの水が橙色になる場合があります。これは気化フィルターの添加剤によるもので、異常ではありません。そのままご使用になれます。	—

上記に従って調べていただいても原因がわからないときや、その他の異常や故障があるときは、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

※樹脂部品は数年間ご使用いただきますと、傷んでいることがあります。お買い上げの販売店にご相談ください。

保証とアフターサービス　必ずお読みください

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

お買い上げの販売店へご相談ください。

販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

東芝生活家電ご相談センター

フリーダイヤル **0120-1048-76**

受付時間：365日　9:00～20:00

携帯電話・PHSなど　022-774-5402（通話料：有料）

FAX　022-224-6801（通信料：有料）

• お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。

• 利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社に、お客様の個人情報を提供する場合があります。

保証書（一体）

● 保証書は、この取扱説明書の20ページに記載されております。

● 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

● **保証期間はお買い上げの日から1年間です。** ただし、エアフィルター、気化フィルターは消耗品ですので、保証期間内でも「有料修理」とさせていただきます。

補修用性能部品の保有期間

● 加湿器の補修用性能部品の保有期間は製造打切り後5年です。

● 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

部品について

● 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は当社で引き取らせていただきます。

● 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

修理を依頼されるときは　持込修理

● 18ページに従って調べていただき、なお異常があるときは、運転スイッチを押して運転を停止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■保証期間中は

保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

■保証期間が過ぎているときは

保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。修理すれば使用できる場合は、ご希望によって有料で修理させていただきます。

■修理料金のしくみ

修理料金は技術料・部品代などで構成されています。	
技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。

便利メモ		
	お買い上げ日	年　　月　　日
	お買い上げ店名	電話（　　　）

長年ご使用の加湿器の点検を！

定期的に「安全上のご注意」「お願い」を確認してご使用ください。誤った使いかたや長年のご使用による熱・湿気・ほこりなどの影響により部品が劣化し、故障や事故につながることもあります。

愛情点検

こんな症状はありませんか。

電源プラグやコンセントにたまっているほこりは取り除いてください。

● 水もれする。

● 本体が異常に熱かったり、こげくさいにおいがする。

● 運転中に異常な音や振動がする。

● コードを動かすと通電したり、しなかったりする。

ご使用中止 → 故障や事故防止のため、使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、必ずお買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。

東芝加湿器保証書

持込修理

<table>
<tr><td colspan="2">形 名</td><td colspan="2">KA-J80DX、KA-J60DX</td></tr>
<tr><td rowspan="3">★お客様</td><td>お名前</td><td colspan="2">ふりがな
様</td></tr>
<tr><td>ご住所</td><td colspan="2">〒□□□-□□□□</td></tr>
<tr><td>電話</td><td colspan="2">市外　市内　番号　呼</td></tr>
<tr><td>保証期間</td><td>本体</td><td>1年</td><td>★お買い上げ日
年　月　日から</td></tr>
<tr><td>★ご販売店</td><td colspan="3">住所・店名
電話</td></tr>
</table>

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは取扱説明書をご覧ください。

東芝ホームテクノ株式会社 家電事業統括部
〒959-1393　新潟県加茂市大字後須田2570-1
電話（0256）53-2847

本書は、取扱説明書、本体貼付ラベルなどの記載内容にそった正しいご使用のもとで、保証期間中に故障した場合に、本書記載内容にそって無料修理をさせていただくことをお約束するものです。
保証期間中に故障が発生したときは、本書と商品をご持参のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
★印欄に記入がないときは無効です。本書をお受け取りの際は必ず記入をご確認ください。また、本書は再発行しませんので紛失しないように大切に保管してください。

1. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   （イ）誤ったご使用や不当な修理･改造で生じた故障、損傷。
   （ロ）お買い上げ後の落下や輸送などで生じた故障、損傷。
   （ハ）火災、天災地変（地震、風水害、落雷など）、塩害、ガス害、異常電圧で生じた故障、損傷。
   （ニ）本書のご提示がない場合。
   （ホ）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句が書きかえられた場合。
   （ヘ）一般家庭用以外（たとえば業務用など）に使用された場合の故障、損傷。
   （ト）消耗部品の交換。
2. 出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。
3. 修理のため取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は当社で引き取らせていただきます。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
5. ご転居またはご贈答品などで、お買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、東芝生活家電ご相談センターへご相談ください。

修理メモ　修理年月日	修　理　内　容	担当
年　月　日		
年　月　日		

・保証書にご記入いただいたお客様の住所・氏名などの個人情報は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
・修理のために、当社から修理委託している保守会社などに必要なお客様の個人情報を預託する場合がございますが、個人情報保護法および当社と同様の個人情報保護規程を遵守させますので、ご了承ください。

東芝ホームテクノ株式会社
家電事業統括部
〒959-1393 新潟県加茂市大字後須田 2570-1

THT-CLCE(TG)